

寄贈いただきました、先生方の本を紹介します



- 犬飼隆著 『木簡から探る和歌の起源』 笠間書院 2008.9
[911.1/159]
- テリー・イーグルトン著 大橋洋一, 梶原克教訳
『学者と反逆者』 松柏社 2008.11 [993.2/E11]
- 工藤貴正著 『魯迅と西洋近代文芸思潮』
汲古書院 2008.9 [920.278/R62]
- 久富木原玲著 『源氏物語の変貌』
おうふう 2008.3 [913.36/Ku19]

「EBSCOhost 利用講習会」を開催します

EBSCOhost は、外国雑誌論文についての学術情報オンラインデータベースです。EBSCO 社より講師をお招きし、実際に検索しながら講習を受けます。図書館カウンターでお申し込みください。

- 日時:** 1月21日(水)午後1時から(午後2時20分頃終了予定)
- 会場:** 情報処理教育センター2階 端末室1
- 対象:** 学生・院生および教職員
- 定員:** 50名

開館カレンダー

2009 1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31								29	30	31				

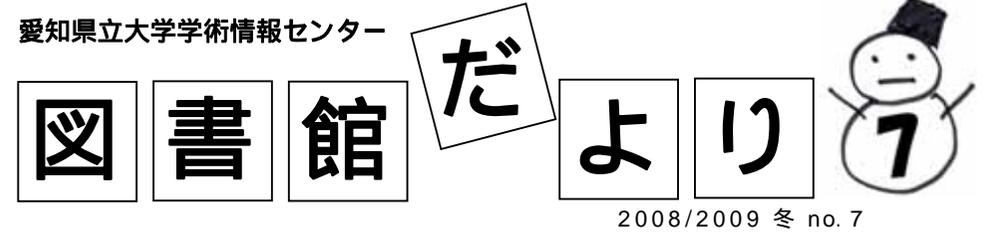
9:00~21:20 9:00~17:00 休館

*1~3月の第3月曜日(定例休館日)は、すべて休まず開館します!

*1/24および1/31の土曜日は、学年末試験に伴い臨時開館します。

愛知県立大学 学術情報センター 図書館

E-mail etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp http://www.aichi-pu.ac.jp/library/



「図書館余聞」へのオマージュ

本学国文学科の原梓さんが、「第51回短歌研究新人賞」次席に選ばれました。この賞がどれほどすごい賞であるか、少しコメントしたほうがよいかもしれません。この賞の第1回目と2回目の受賞者は中城ふみ子と寺山修司で、戦後短歌の新しい感性はこの賞から始まったと言ってもよいほどです。その後も幾多の若い優れた歌人がこの賞をきっかけにデビューしました。ちなみに本学出身の歌人・荻原裕幸さんも1987年の受賞者です。

原さんの受賞対象となった短歌30首は「図書館余聞」と題されています。余聞とは「こぼれ話」のことで、私もさっそく『短歌研究』9月号に載った30首を読んでみました。正直なところ、団塊の世代に属する私には、原さんの短歌は「若々しい」とか「瑞々しい」とかいった月並みな形容詞では表し得ない、わかりにくさがあります。しかし、そこには、日常生活の中で出会うさまざまな「場所」への鋭い独特な感性があるように思います。図書館の「仄暗い一角」、迷いやすい「地下書庫」、「それ以外の何者でもない階段」、立ち止まる「踊り場」などなど、原さんの短歌では図書館の何ということもない場所がふっと特別な意味をもって立ち現れます。大学図書館はキャンパスの「余分」な場所ではありません。学生のみなさん自身の多彩な「余聞」=物語が立ち上がる場所です。原さんに倣って、みなさんも大学図書館を再発見してみてください。

(学術情報センター長 加藤義信)